

ユビキタス時代の人流

2009年11月16日

加賀市長 観光学博士

寺前秀一

観光学における観光の定義

- 「観光」と「観光でないもの」の差異を説明しなければならない
- 差異を論じる実質的意味合いを論じなければならない
- 日常生活圏を離脱して非日常体験を行うこと

観光の語源 「易経」

- 上九 觀其生 君子无咎
- 九五 觀我生 君子无咎
- **六四 觀国之光 利用賓于王**
- 六三 觀我生進退
- 六二 闚觀 利女貞
- 初六 童觀 小人无咎 君子吝

注 六四の觀は平音(観る)
九五の觀は去音(示す)

観光の語源(易経)



上九 觀其生 君子无咎



九五 觀我生 君子无咎



六四 觀国之光 利用賓于王



六三 觀我生 進退



六二 闚觀 利女貞



初六 童觀 小人无咎 君子吝

観光政策の目的

- 国策としては外貨獲得は目的とはならない
- 観光立国推進基本法：国の世界に占める地位に比べて訪日外客数が少ない。
- 「地域の特色の発揮」「地域の誇り」
- 地域政策の場合は殖産興業的側面(地域おこし)があるが、費用対効果が問題(リゾートの失敗、夕張市の破綻)

「地域」「観光」と「政策」

- 「地域」と「観光」は親和的
- 「政策」とは不協和 均衡発展論
- 佐伯宗義(衆議院議員、富山地鉄社長)は観光基本法に反対
- 観光とは地域の個性の発揮
- 中央集権的基本法には反対

2006年度市町村別入湯客数

順位	市町村	入湯客数	うち宿泊人数	うち日帰客数	主な温泉地
1	箱根町	5780	4123	1657	湯本、強羅
2	札幌市	3795	1769	2026	定山溪、鴨々川
3	日光市	3211	2753	458	鬼怒川、川治、日光
4	熱海市	3176	2943	224	熱海
5	伊東市	2966			伊東
6	渋川市	2564	1153	1411	伊香保
7	別府市	2215			別府
8	仙台市	2018	1220	798	秋保
9	草津町	1999	1509	490	草津
10	加賀市	1987	1771	216	山代、山中、片山津

リニアと北陸新幹線

- リニアの潜在需要 伊丹→広島
- 東海道新幹線は自己資本のみ
- アジアゲートウェイ構想と横田飛行場
- 在来新幹線の活用 フリーゲージ等
- 北陸新幹線も在来東海道新幹線との連携

観光と空港

～ポリシー・ロンダリング効果～

- 成田空港反対運動では、海外旅行の大半は観光であり遊びのために先祖からの土地を提供する気は無い、とする意見が代表的→地域観光政策の視点の欠如→羽田の再国際化
- 横田飛行場は政治姿勢、騒音、事故等による迷惑施設から、政治家は超党派で民間利用に否定的、政策論議回避
- 観光が地域政策として認識、横田飛行場の消極的容認論へと変質。地域観光政策の標榜が飛行場問題解決に当たってポリシーロンダリング効果を持つ。
- 横田飛行場周辺5市1町は観光政策が重要であるという観念論が先行している状態である。

融合する公共交通と観光

完全民 営型	千代田（スカイバ ス）	検討中	中央、新宿
無料運 行型	千代田（企業協 賛）	観光を含め検討 中	墨田
公共交 通型	練馬区等多数	実験中	板橋、北
観光要 素包含 型	文京、渋谷、江戸 川、台東	検討の結果断念	目黒
		構想なし	品川、太田、 豊島

ゆびタクとサーバーレール

- 乗り放題タクシー
- 月極時間性(定期券)
- 新しい旅行業商品
- 改札口の廃止 欧州鉄道

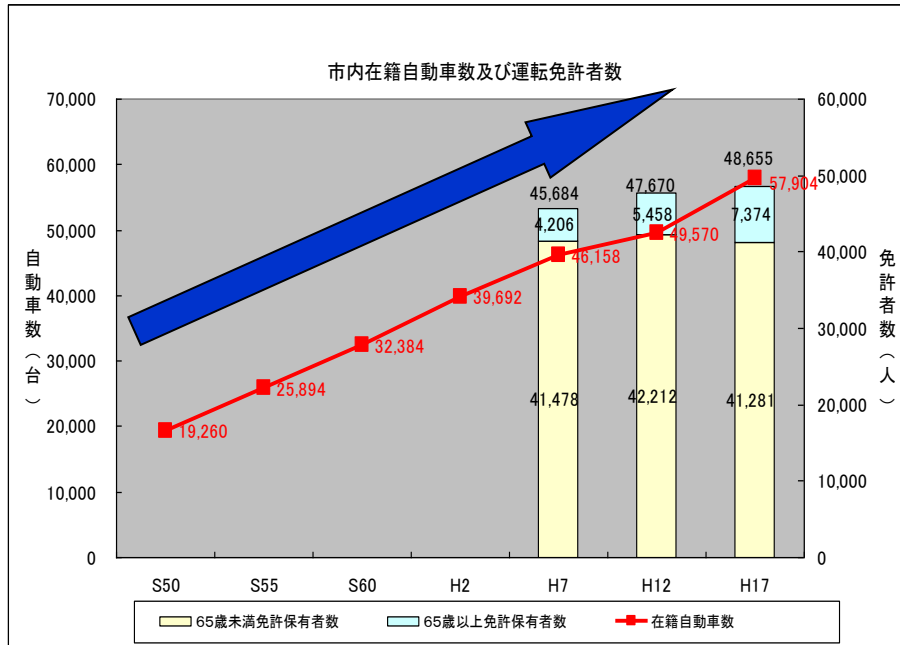
路線バスの危機

市内在籍自動車数

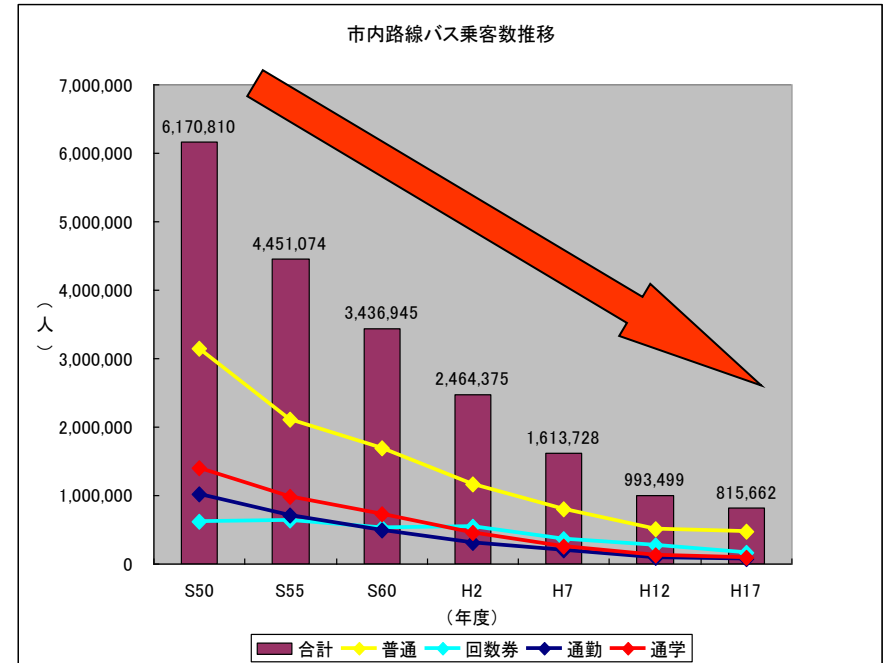
S50 20,000台
H17 58,000台

路線バスの利用者数

S50 620万人
H17 82万人

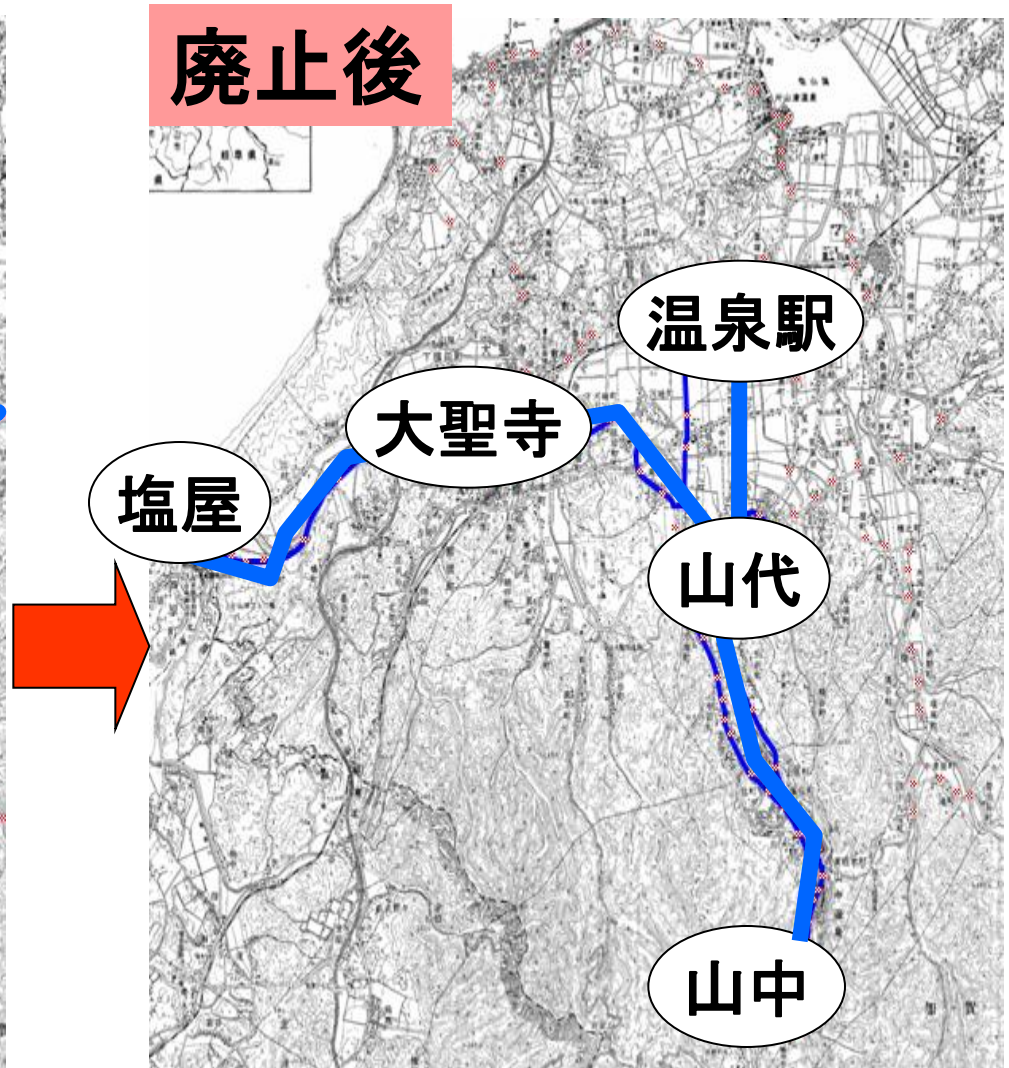
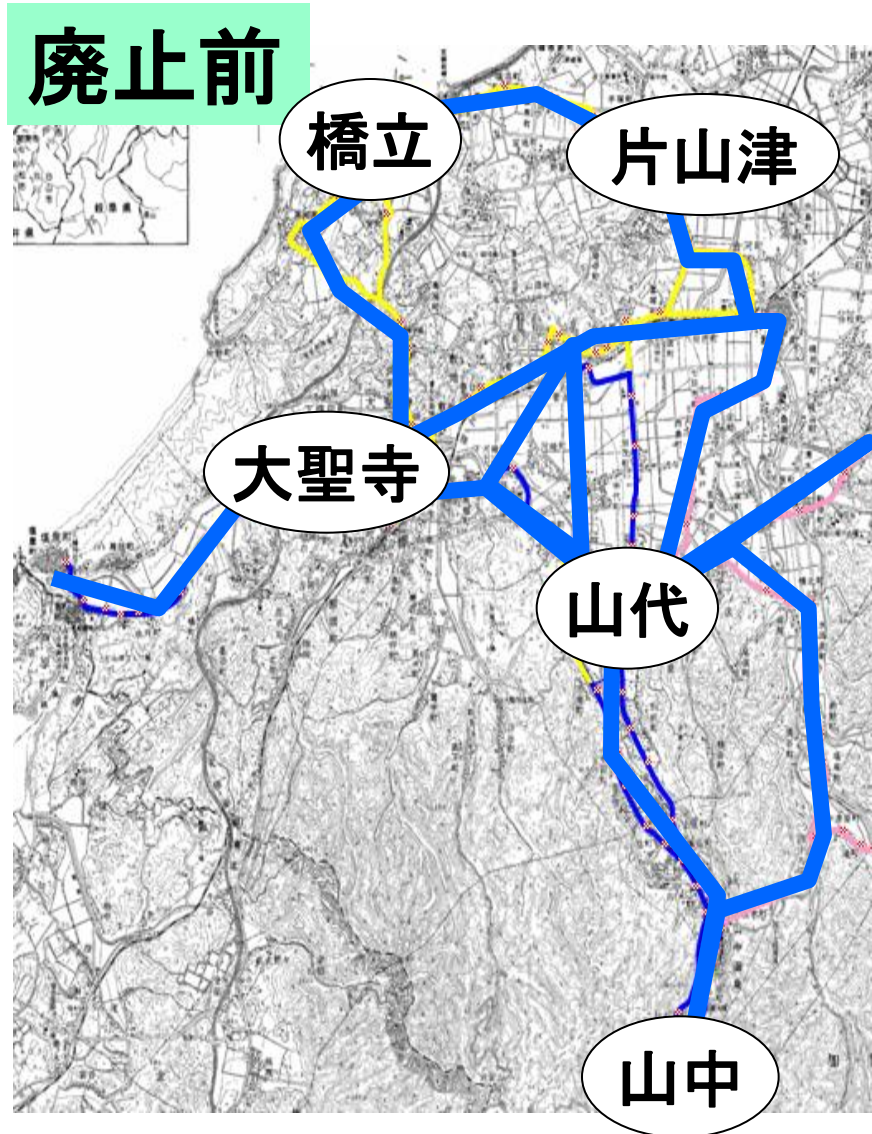


資料：加賀市統計書「在籍自動車数（石川県自動車販売店協会）」
大聖寺警察署



資料：加賀市統計書「バス乗客数（加賀温泉バス）」

バス路線の大幅廃止(H20.5月)



このような状況の中、加賀温泉バスから、
路線廃止計画が示された。(平成19年4月)

結果的に、加賀温泉バス(株)は、市内11路線中
8路線を、平成20年4月30日をもって廃止した。

- 1 東谷線 (平均1.0人乗車 年間 ▲260万円)
- 2 四十九院線 (平均1.0人乗車 年間 ▲200万円)
- 3 動橋線 (平均2.3人乗車 年間 ▲170万円)
- 4 山代A線 (平均1.5人乗車 年間 ▲1,000万円)

- 5 大聖寺線
 - 6 橋立大聖寺線
 - 7 温泉片山津線
 - 8 山中線 (平均3.1人乗車 年間 ▲960万円)
- (平均2.9人乗車 年間 ▲2,600万円)

公共交通の問題と課題

1 市民のバスに対する需要は低下し、利用減少が続いている。

⇒将来展望のある手段により市民の足を確保する対応が必要である。

2 バス路線の沿線だけでなく、全ての地域で公共交通確保を求める声がある。

⇒全市的な公共交通確保の対応が必要である。

公共交通の問題と課題

- 3 「戸口から戸口まで」といったきめ細かい運行など、求められるサービスが多様化している。
⇒利用者ニーズに応えた、ムダのない交通サービスを目指す必要がある。
- 4 自家用車中心の社会では、事業者や行政の取り組みだけでは、運行維持ができない環境になっている。
⇒事業者や市だけでなく、市民も維持に取り組む仕組み作りが必要

信頼の輪でできた 交通サービス

市民

クルマがなくても移動できる。
公共交通の利用が増える。

地域の交通サービスリーダーがいる。

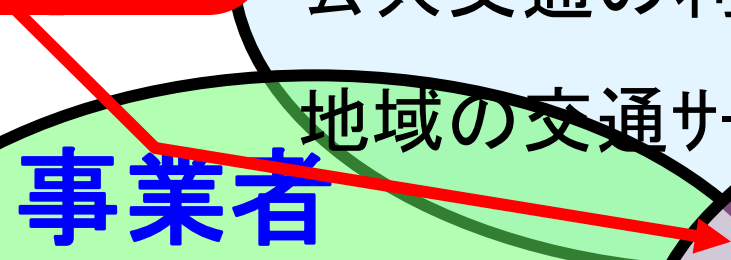
市

市民との協働でスムーズな交通行政ができてる。

事業者

利用が増える。
新たな付加価値サービス
企業市民として社会貢献

協働をもとにした信頼の交通サービス



1 キャンバス



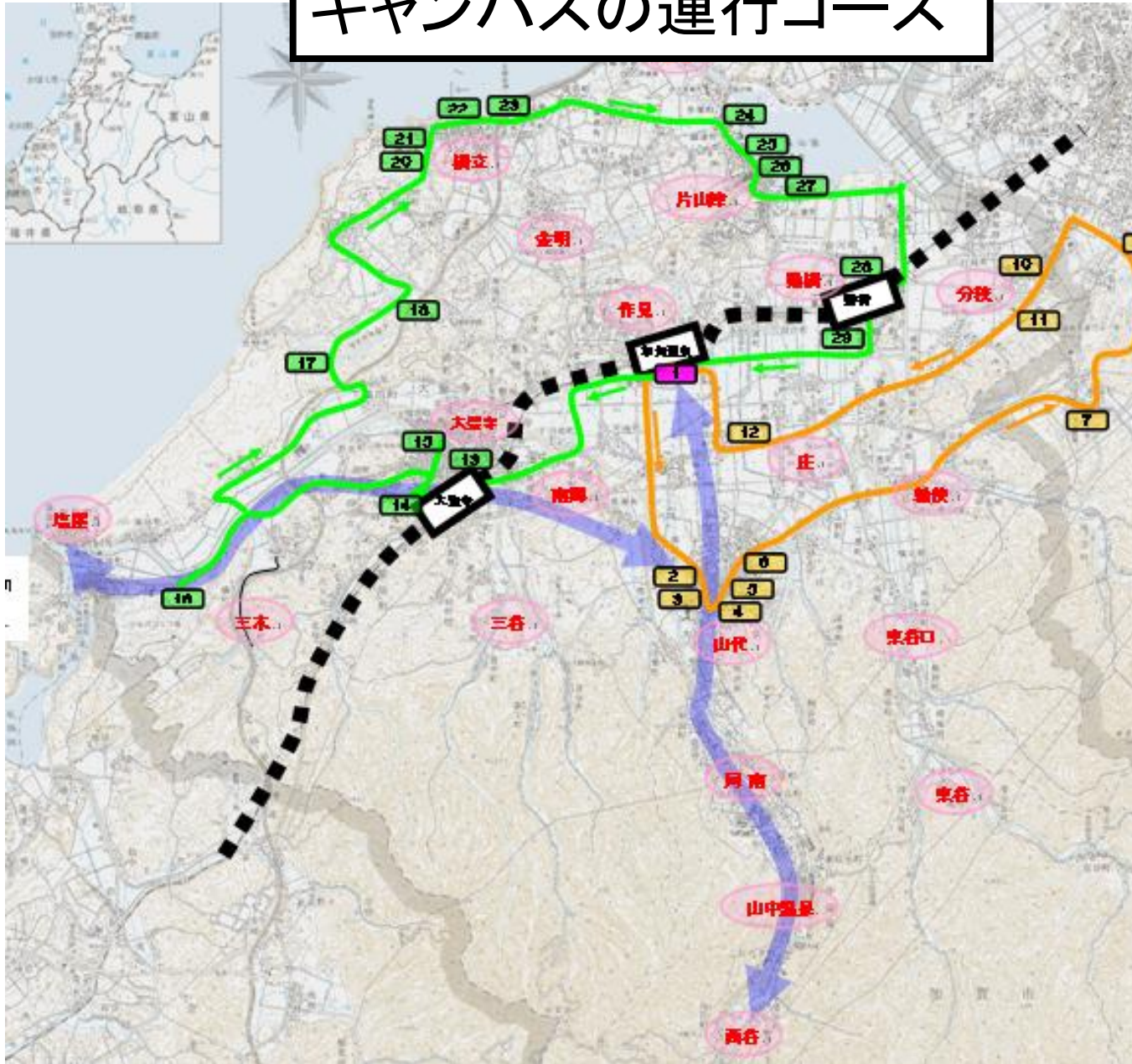
- ▶ 日常生活の移動用に市民も乗れるバス
- ▶ 「山まわり」「海まわり」で、広範囲に循環運行
- ▶ ダイヤも、朝9時から夕方5時30分までと充実
- ▶ 運賃：11回乗車分の回数券が3,000円
(1乗車あたり約273円)

※1日券(1,000円)と2日券(1,200円)もあり

- ▶ 「大聖寺駅口・市役所」、
「市民病院」、「黒崎」、
「塩浜」停留所を設置



キャンバスの運行コース



キャンバスの経路

(平成20年4月1日以降)

- キャンバス海まわり経路
- キャンバス山まわり経路
- 踏後バス経路

- 1 JRF新築駅前ビルディング前
- 2 丸石駅前
- 3 山代駅前橋元
- 4 万加瀬・加瀬入道四ツ井田等
- 5 山代駅前橋元
- 6 山代駅前橋元・丸石駅前橋元
- 7 丸石寺
- 8 丸のくいの森
- 9 日本寺駅前橋元
- 10 西野のガッソ
- 11 新築駅前ビルディング前
- 12 新築駅前橋元・新築駅前橋元
- 13 山代駅前橋元・新築駅前橋元
- 14 山ノ下駅前橋元・丸石駅前橋元
- 15 丸石寺・丸石寺・新築駅前橋元
- 16 丸石寺
- 17 新築駅前橋元
- 18 新築駅前橋元
- 20 新築駅前橋元
- 21 新築駅前橋元
- 22 新築駅前橋元
- 23 新築駅前橋元
- 24 山代駅前橋元
- 25 山代駅前橋元
- 27 山代駅前橋元
- 28 山代駅前橋元
- 29 丸石寺 (Green)

料金体系	
1日券	1,000円 (千円500円)
2日券	1,200円 (千円600円)
周遊回数券	3,000円
	(11区間単位)

2 おでかけ応援車両

- ▶ 自動車学校生徒や病院患者の送迎バスの空席を活用

⇒ 既存の移動サービスを有効活用

⇒ 事業者のボランティア（協働）で実現

【協力事業者】 加賀自動車学校、久藤病院、
石川病院、ケアハウス和

- ▶ 利用対象者

路線バスの通っていない地域
に住む、65歳以上の人及び
障害のある人

（市へ利用登録が必要）



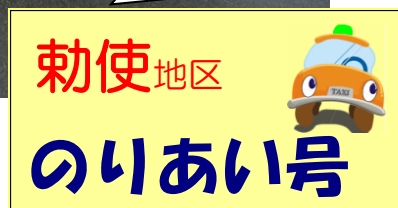
3 乗合タクシー



- ▶ タクシーを相乗り利用する新しい交通サービス
- ▶ 勅使・東谷口地区と橋立地区で運行中
⇒ 住民組織が運行主体となって取り組んでいる。

▶ 利点

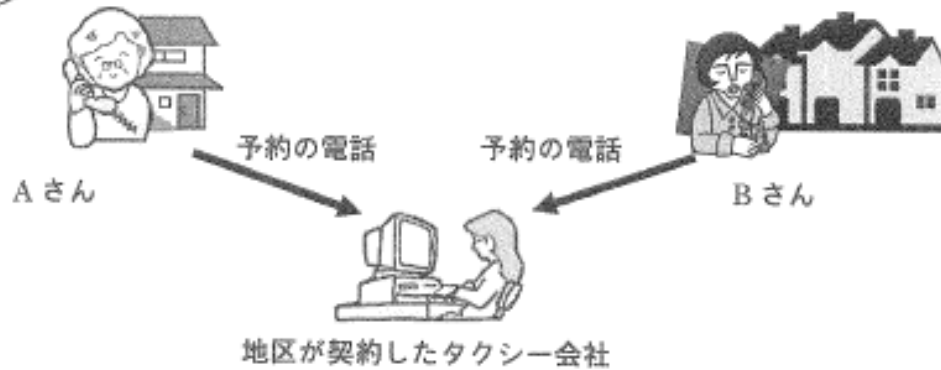
- 家の近くから乗れる。
(各町の公民館などが乗車場)
- 目的地の前まで行ける。
- 比較的に高くない運賃



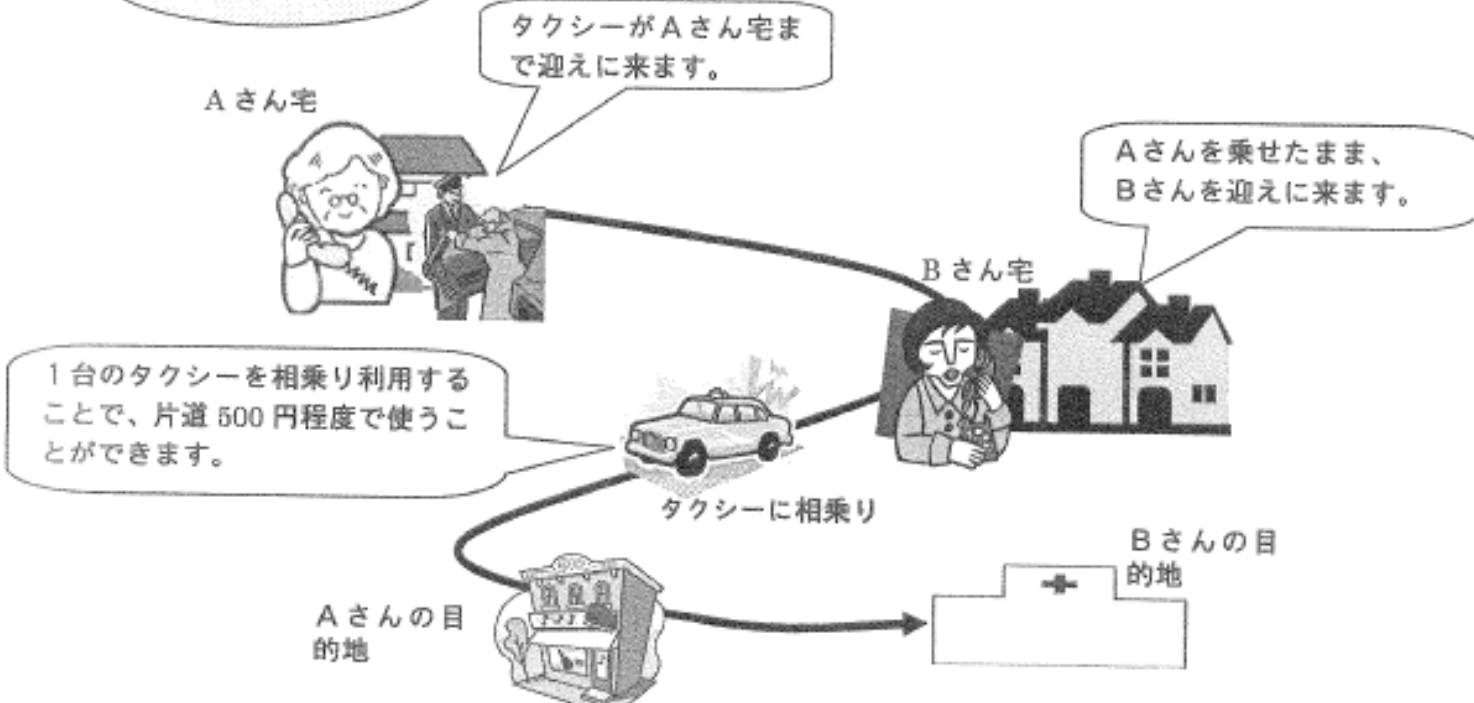
(1回乗車あたり500円)

乗合タクシーイメージ

利用日前日までに電話で予約



利用する当日



なりたい姿

みんなで作り、守り育てている 乗合タクシー

市民のヤル気

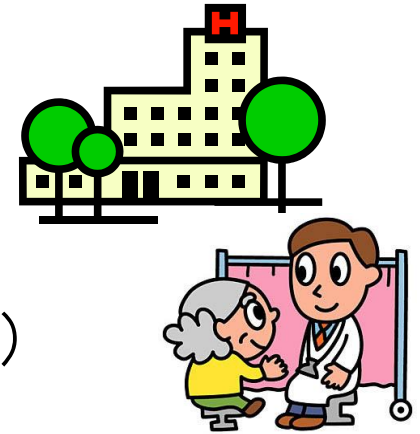
勅使・東谷口乗合タクシー

▶ 運行採算率: 85%

橋立乗合タクシー

▶ 住民主体の運行を開始





▶ 主な行き先

- ・病院や買物(スーパー、ショッピングセンター)
- ・入浴施設、市民会館、金融機関など

▶ 利用者層

- ・高齢者が中心⇒**女性の利用が多い**

知り合いを誘って利用している
車内での会話が弾んでいる。

4 小学校スクールバスの 空席活用

- ▶ 山中小学校スクールバスの空席を活用
(既存の移動サービスを有効活用)
- ▶ 利用対象者
山中東谷地区に住む、高齢者及び障害のある人
- ▶ 朝1便、午後2～3便で活用